

福岡医連発第 2291 号 (総)

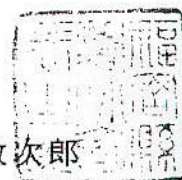
平成 16 年 3 月 29 日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 関 原 敬次郎



日本医師会長選挙について (ご報告)

日本医師会長選挙は、4 月 1 日に日本医師会館において開催されます。

当初の立候補予定者は、日本医師会副会長の青柳 俊氏と、同じく日本医師会常任理事の櫻井秀也氏、参議院議員の宮崎秀樹氏、大阪府医師会長の植松治夫氏の 4 名であり、1 月 24 日に 4 名を招いて開かれた、九州医師会連合会の政策演説会 (佐賀県) では、各候補とも独自の政策を打ち出しておられました。その後、各陣営では選挙対策本部を立ち上げられました。

しかしながら、植松陣営は、立候補締め切り (3 月 25 日) の直前に、櫻井、宮崎両氏を副会長候補に据えたキャビネットを発表し、「医師会の刷新が必要だ」という 3 者の共通認識があったと述べております。一方、青柳陣営は、「坪井執行部が掲げた政策の旗は振りつづけなければならぬ」としており、事実上の一騎打ちの選挙戦となりました。

最終的には、大阪府医師会所属の金丸昌弘氏 (38 歳 主な医師会職歴なし) が新たに立候補され、日本医師会副会長の青柳 俊氏と、3 陣営が連合した大阪府医師会長の植松治夫氏の 3 人が日本医師会長候補として選挙戦に臨むことになりました。

以上のとおり、日本医師会長選挙の現状について取り急ぎお知らせいたしますので、貴会会員へご周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、九州医師会連合会では、日本医師会長候補に青柳 俊氏を、福岡県医師会所属としては、副会長候補に本会副会長の横倉義武氏を、常任理事に西島英利氏 (日本医師会常任理事) を、理事に本会次期会長の竹嶋康弘氏推薦しております。

追記：本文発送直前に、別紙の最新情報 (候補者一覧) が入りましたので、ご参考までにお送りいたします。

小郡三井医師会より

会長 丸山 泉

日本医師会役員及び裁定委員候補者一覧

(任期：平成16年4月1日～平成18年3月31日)

(順序は抽選による)

社団法人 日本医師会

会長候補者 3人 (定数1人)

1. 植松 治雄 (大阪府)
3. 青柳 俊 (北海道)

2. 金丸 昌弘 (大阪府)

副会長候補者 6人 (定数3人)

1. 羽生田 俊 (群馬県)
3. 横倉 義武 (福岡県)
5. 寺岡 暉 (広島県)

2. 宮崎 秀樹 (愛知県)
4. 櫻井 秀也 (東京都)
6. 大 道 久 (東京都)

理事候補者 13人 (定数13人)

1. 佐々木 義博 (青森県)
3. 岡田 幹夫 (静岡県)
5. 飯塚 弘志 (北海道)
7. 竹嶋 康弘 (福岡県)
9. 川島 龍一 (兵庫県)
11. 森 喜八郎 (宮崎県)
13. 倉品 克明 (新潟県)

2. 大輪 次郎 (愛知県)
4. 中川 利一 (徳島県)
6. 中島 雪夫 (鳥根県)
8. 唐澤 祥人 (東京都)
10. 油谷 桂朗 (京都府)
12. 吉原 忠男 (埼玉県)

常任理事候補者 20人 (定数10人)

1. 青木 重孝 (三重県)
3. 早川 隆 (埼玉県)
5. 保坂 シゲリ (神奈川県)
7. 斎藤 達也 (東京都)
9. 西島 英利 (福岡県)
11. 橋本 信也 (東京都)
13. 三上 裕司 (大阪府)
15. 板殿 敦 (広島県)
17. 内田 健夫 (神奈川県)
19. 田島 知行 (千葉県)

2. 雪下 國雄 (神奈川県)
4. 平野 眞司 (静岡県)
6. 澤 倫太郎 (東京都)
8. 松原 謙二 (大阪府)
10. 星 北斗 (福島県)
12. 小森 貴 (石川県)
14. 野中 博 (東京都)
16. 土屋 隆 (長野県)
18. 中川 俊男 (北海道)
20. 藤村 伸 (埼玉県)

監事候補者 3人 (定数3人)

1. 西浦 幸男 (福井県)
3. 小谷 秀成 (岡山県)

2. 大久保 幹雄 (山梨県)

裁定委員候補者 11人 (定数11人)

1. 大田 豊穂 (神奈川県)
3. 奈良橋 喜成 (東京都)
5. 西村 邦康 (東京都)
7. 樋口 忠 (北海道)
9. 杉田 肇 (大分県)
11. 藤井 康宏 (山口県)

2. 吉永 帰一 (静岡県)
4. 山崎 英彦 (新潟県)
6. 植田 洋明 (奈良県)
8. 梅園 忠 (千葉県)
10. 嶋 多門 (福島県)